

市議会だより



大室山

発行 伊東市議会 議長 土屋 進
編集 議会報編集委員会
伊東市議会事務局
電話32-1981(直通)FAX38-6916



これから4年間の任期に臨む 第17期市議会議員の22人

表紙は「いとう」の文字に大室山・小室山を配し、図案化したものです。
つばきは伊東市の花木で、昭和42年8月10日、市制施行20周年を記念し、市民から公募して制定されました。

小室山

主な内容

- 新議会構成 【P.2】
- 臨時会の概要 【P.4】
- 9月定例会の概要 【P.6】
- 代表質問（3議員が登壇） 【P.9】
- 常任委員会だより 【P.11】

市議会会議録は、市役所、図書館、
各コミュニティセンターにあるほか、
ホームページでもごらんになれます。
(9月定例会会議録は、11月中旬
発行・公開の予定です)

新 議 会 構 成 決 定

正副議長の選挙、各常任委員会委員及び議会運営委員会委員の選任を行いました。

正 副 議 長



第63代副議長
稲葉富士憲



第68代議長
土屋 進

臨時会

第一七期市議会議員の初議会となる臨時会を一〇月一日に開会しました。



委 員
長 沢 正



委 員
榎本元彦



副委員長
三枝誠次



委員長
井戸清司



委 員
森 篤



委 員
掬川武義



委 員
浅田良弘

企画部、総務部、市民部、消防本部の所管に属する事項及び他の常任委員会の所管に属さない事項を審査します。

常任総務委員会

議会運営

委員会

定例会、臨時会の会期及び議案審議予定に関すること、議員提出議案、請願書、陳情書、動議の取り扱いに関すること、議会関係人事案件に関すること、議会関係例規の制定改廃に関すること、各種の儀礼に関すること、議会図書室に関すること、議長の諮問に関すること、その他議会運営に関することを協議します。

委員長 佐々木 清

副委員長 三枝 誠次

委 員 宮崎 雅薫

委 員 榎本 元彦

委 員 鳥居 康子

委 員 四宮 和彦

委 員 横沢 勇

市議会内

会派の結成

平成二十三年一〇月二日現在

新しく構成された市議会に次のとおり五つの会派が結成されました。

常任観光建設委員会

観光経済部、農業委員会、建設部、上下水道部の
所管に属する事項を審査します。



委 員
楠田一男



委 員
佐々木 清



副委員長
横沢 勇



委員長
西島 彰



委 員
重岡秀子



委 員
稲葉富士憲



委 員
鈴木克政

常任福祉文教委員会

保健福祉部、教育委員会の所管に属する事項を審
査します。



委 員
佐山 正



委 員
宮崎雅薫



副委員長
鳥居康子



委員長
四宮和彦



委 員
杉本一彦



委 員
稲葉正仁



委 員
浜田修一郎

（◎）会派代表者、
会派構成議員は議席順
正風改革クラブ

■伊東元気の会

浜田 修一郎 議員

榎本 元彦 議員

佐山 正 議員

井戸 清司 議員

佐々木 清 議員

西島 彰 議員

宮崎 雅薫 議員

土屋 進 議員

◎公明党

鳥居 康子 議員

長沢 正 議員

楠田 一男 議員

■民主党・刷新の会

四宮 和彦 議員

◎鈴 木 克政 議員

浅田 良弘 議員

■輝 21

稲葉 正仁 議員

◎稲葉 富士憲 議員

三枝 誠次 議員

■伊東元気の会

◎横沢 勇 議員

杉本 一彦 議員

□いずれの会派にも属して
いない議員

榎川 武義 議員

重岡 秀子 議員

森 篤 議員

市長 所信表明 (要旨)

臨時会において、第一七期市議会議員に
対し、市長の所信表明が述べられました。

市民の皆様と協働し、「伊
東創造」の実現を目指す

我が国の政治や経済の現
状は、円高の進行や海外経
済の減速懸念により、先行
きの不透明感が強まるとと
もに、失業率も高水準にあ
り、物価の動向も緩やかな
デフレ状況が続いているな
ど、景気は依然として足踏
み状態にあります。

このような状況の中、今年
度は「いとう8Kの協創・
実践」を合言葉に、市民の皆
様と協働し、職員と一丸とな
って、重点施策である「健
康」、「観光」、「改革」、
「経済対策」、「子育て支
援」、「教育」、「環境」及び
「危機管理」の八つのKを
確実に実践していくことで、
「伊東創造」の実現を目指
しているところであります。



市長 伊藤 弘巳 氏による所信表明

既存の観光資源にさらに磨
きをかけ、新たな魅力の創
出による観光誘客を図る

本市の活力の源となる観
光振興につきましては、伊
東八景を初めとする観光資
源にさらに磨きをかけると
ともに、本市が中心となっ
て伊豆半島ジオパーク構想
を推進するなど、今後も引
き続き伊豆の市町との連携
を深め、新たな魅力の創出
による観光誘客に努めてま
いります。

危機意識の高揚と防災意識
の向上を図る

市民生活の安全・安心を
守る危機管理につきまして
は、あらゆる危機に備え、
これまで以上に危機意識の
高揚と防災意識の向上を図
ってまいります。

スピード感をもって社会経
済情勢や行政ニーズの変化
に的確かつ柔軟に対応する

市民の英知を集結し
「伊東創造」に向け
邁進してまいります

歳入歳出一体
改革を積極的に
行うなど、行財
政改革の取り組
みを継続し、
「現場主義」、
「目的指向」、
「意識改革」を
柱とする「伊東
市システム」を
徹底するととも
に、行政運営全
般について「P・D・C・
Aマネジメントサイクル」
の定着を図るほか、新たな
行財政改革大綱を策定し、
スピード感をもって、社会
経済情勢や行政ニーズの変

化的に確かつ柔軟に対応し
てまいります。

「ずっと住みたい また来
たい 健康保養都市 いと
う」の将来像を目指す

今年度からスタートした
第四次伊東市総合計画につ
いては、まちづくりの基本
理念の一つに「参画と協
働」を掲げ、人と人との信
頼関係を大切に、市民の皆
様とともに「ずっと住みた
い また来たい 健康保養
都市 いとう」の将来像を
目指してまいります。

議会を傍聴して
みませんか？

市政に対する真剣な議論
や、あなたが貴重な一票を
投じた議員の発言などを直
接ごらんになってみてはい
かがでしょうか。

簡単な手続で傍聴するこ
とができますので、希望さ
れる方は議会事務局までお
気軽にお越しくください。

傍聴者数は平成二三年九
月定例会二二人、一〇月一
日の臨時会が二人でした。

新議員 行政研究会

今後議員活動を行う上
において必要となる基礎的事
項に関し理解を深めていた
だくため、初当選した議員
を対象に、議員行政研究会
を実施しました。

(一〇月三日)

■執行機関の概要説明

(一〇月四日)

■市内各施設の視察

湯川終末処理場／消防庁
舎／環境美化センター／門
野中学校(学校給食)

■議事機関の概要説明



環境美化センターの視察

臨時会で審議した議案等



議案番号	件 名	概 要	提出者	審議結果
市議第15号	南中学校校舎耐震補強工事請負契約の締結について	契約金額：2億7,825万円 契約の相手方：株式会社斉藤組	市長	全会一致で可決
市選第3号	監査委員選任の同意について	楠田一男議員（議員のうちから選任する委員）	市長	全会一致で同意
市選第4号	公平委員会委員選任の同意について	田中慈康氏（芝町）再任	市長	全会一致で同意
発議第4号	前正副議長に感謝状の贈呈について	久保谷敏司前議長、鳥居康子前副議長の在職中の功績に対する感謝状の贈呈	議員8名	全会一致で可決
発選第3号	議長選挙	指名推選により、土屋進議員が当選しました。	議長	—
発選第4号	副議長選挙	指名推選により、稲葉富士憲議員が当選しました。	議長	—
発選第5号	議会運営委員会委員の選任	※2ページを参照してください。	議長	—
発選第6号	常任委員会委員の選任	※2、3ページを参照してください。	議長	—
発選第7号	農業委員会委員補欠推薦について	宮崎雅薫氏、榎本元彦氏、浅田良弘氏	議員7名	全会一致で推薦
		稲葉正仁氏		賛成多数で推薦



臨時会の様子（感謝状の贈呈）

全員打ち合わせ会

臨時会に先立ち、一〇月五日、市議会全員打ち合わせ会を開会しました。

議員、市長、副市長、教育長等の自己紹介の後、第一七期四年間の議会運営及び議員活動等における申し合わせ事項に関し協議を行いました。

第一五期まで、一二月定例会において実施してきた決算審議を、第一六期中の試行を経て、九月定例会において行うものとする事など、今任期の申し合わせ事項とすることを提案し、決定いたしました。

平成23年9月定例会

平成22年度

一般会計・特別会計・企業会計決算を認定

9月定例会を8月29日から9月8日までの11日間の会期で開会しました。

平成22年度 決算概要説明 (要旨)

平成二二年度一般会計当初予算は、景気の低迷を反映した市民税の落ち込みによる市税の減収が見込まれる中で、本市の健全財政の定着を図るため、「伊東創造」に向けた「いとう8K（健康、観光、改革、経済対策、子育て支援、教育、環境、危機管理）の発展・充実」のための各種施策の展開を念頭に、サマーレビューの成果を反映させた予算編成に当たることとしました。

その結果、一般会計の予算規模を二二四億七四〇〇万円と、前年度を七・一％上回る積極型の予算とし、その後、地方交付税の追加交付や緊急雇用創出事業臨時特例基金を活用した雇用創出事業の積極的な実施、本市独自の緊急経済対策などに伴う増額補正等を行い、最終予算規模を二五二億五六三万円としました。執行に当たっては、限ら

れた財源の有効活用に意を注ぎ、市民生活の安全・安心の実現と市内経済の活性化に努めたところです。

一般会計の歳入決算では、自主財源に大きな比重を占める市税が、予算現額を一・六％上回る決算となり、対前年度比では三・〇％減少し、依存財源では、地方譲与税が二・九％、自動車取得税交付金が三・九％、国庫支出金が一七・四％減少したものの、地方交付税が二四・三％、県支出金が七・一％、市債が四八・七％増加し、歳入決算額は二四八億八八五〇万五〇〇円で、対前年度比〇・六％の増となりました。

歳出決算では、経常経費において、職員の各種手当の見直しや定員の適正化を実施したものの、退職手当の増加により人件費が一・二％、子ども手当の支給により扶助費が二九・八％、公債費が三・〇％前年度より増加しました。

り増加しました。

投資的経費では、普通建設事業費の補助事業費が、八幡野幼稚園耐震化事業などで対前年度比一・九％増加し、単独事業費では、継続事業である漁港整備事業や市道富戸・梅の木平線改良事業の増額と、介護老人福祉施設・特別養護老人ホーム整備補助事業などの新規事業により前年度を二・〇％上回り、その結果、普通建設事業費全体では、対前年度比で二・〇％増加しました。

その他の経費では、介護保険事業特別会計、後期高齢者医療特別会計への繰出金が増加したものの、医療施設設置基金への積立金の減少などにより、全体では前年度を〇・一％下回り、歳出決算額は二四二億九七五万七〇〇〇円で、執行率九六・二％、対前年度比〇・六％の増となりました。

なお、歳入歳出差引額は五億八八七四万八〇〇〇円で、翌年度へ繰り越すべき財源一億四五四四万四〇〇

〇円を差し引いた実質収支額は、前年度を九・五％下回る四億四三三〇万四〇〇〇円となりました。

病院事業会計では、収益的収支は、収入が税込みで三九億五九二万四〇〇〇円、支出が三九億四一八〇万円で、消費税等を除いた当年度純利益は一七三一万二〇〇〇円となりました。

資本的収支は、収入が二億一〇五九万七〇〇〇円、支出が三億一八八万四〇〇〇円で、収支差し引き一億八二八万七〇〇〇円の不足となりましたが、過年度分損益勘定留保資金等で補てんしました。

水道事業会計では、収益的収支は、収入が税込みで一七億一九五万九〇〇〇円、支出が一五億八〇五万二〇〇〇円で、消費税等を除いた収支差し引き一億七八二六万八〇〇〇円の当年度純利益を計上しました。

資本的収支は、収入が三億七四六五万円、支出が一億四三三九万円で、収支差し引き七億六八九四万円

平成22年度 一般会計・特別会計・企業会計決算

◎全会一致で認定 ○賛成多数で認定

区 分 会計別		歳 入		歳 出		審議 結果
		決算額(円)	収入率 (%)	決算額(円)	執行率 (%)	
一 般 会 計		24,888,505,481	98.54	24,299,756,937	96.21	○
特 別 会 計	下 水 道 事 業	2,258,724,018	96.00	2,235,885,877	95.03	◎
	競 輪 事 業	14,262,254,060	94.35	14,697,676,574	97.23	◎
	国民健康保険事業	10,270,074,719	101.46	9,893,389,482	97.74	◎
	土 地 取 得	32,559,144	99.87	32,504,984	99.71	◎
	老 人 保 健	13,190,807	62.90	13,190,807	62.90	◎
	霊 園 事 業	71,326,792	99.63	71,226,527	99.49	◎
	介護保険事業	5,629,188,337	99.08	5,628,494,677	99.07	◎
	介護老人保健施設	51,454,015	99.91	51,282,630	99.58	◎
	後期高齢者医療	1,457,148,225	99.11	1,436,808,453	97.72	◎
合 計		58,934,425,598	97.94	58,360,216,948	96.98	—

区 分 会計別			収 入		支 出		審議 結果
			決算額(円)	収入率 (%)	決算額(円)	執行率 (%)	
企 業 会 計	病院事業	収益勘定	3,959,214,352	97.14	3,941,799,677	96.89	◎
		資本勘定	210,597,042	100.01	318,884,144	99.87	
	水道事業	収益勘定	1,719,519,352	101.05	1,508,051,971	97.97	◎
		資本勘定	374,649,752	91.76	1,143,589,672	94.60	

の不足となりましたが、損益勘定留保資金等で補てんしました。

本市の財政は、職員の人件費を含むすべての事務事業の見直しなど「伊東再生」を最重要課題としたさまざまな改革への取り組みにより、ここ二年間は退職手当債を借り入れることなく黒字を確保するとともに、財政調整基金や医療施設設置基金への積み立て、起債残高の圧縮など財源確保に

一定の前進が図られており、健全化判断比率や経常収支比率、実質収支比率などの財政指標からも、確実に健全化の方向へ向かっているものと判断しています。

また、本決算の意義を真摯に受けとめ、「いとう8Kの協創・実践」を合言葉に、議会の協力はもとより、市民の参画を得ながら、「伊東創造」の実現を目指して、引き続き最善の努力を傾注してまいります。

本会議で
行った討論
(概要)

■伊東市立保育所条例の一部を改正する条例

《反対》日本共産党

湯川保育園では、指定管理による経営となった一年四カ月間に七人が辞職しているが、こうした状況は公立では起こり得ない。

保育所の役割が重要となる中、子供や保護者の気持ちを受けとめ、子供の発達を保障する保育を実施するためには、人員配置等を含む良好な職場環境が適切に確保され、職員の定着が必要と考える。

さらに、民営化の際には、土地、建物が無償貸与されるが、その条件が不明瞭で、状況が変わったときには、その都度協議するという契約方法にも疑問が残る。

これらの点から、湯川保育園の完全民営化については認めることができず、公立いじめとも言える国の保育行政に対する怒りも含めて、反対する。

■平成二二年度伊東市一般会計歳入歳出決算

《反対》日本共産党

経済状況が非常に厳しい中、ふるさと雇用再生特別基金事業等による雇用の創出、住宅リフォーム振興事業や各種資金貸付制度による経済支援、校舎等耐震補強工事などは評価する。

しかし、市内最大の事業所である市役所が正規職員の減員を臨時職員で補い、その割合は二割に上り、経験を考慮しない職種別賃金としたことは認められない。

さらに、財政調整基金を増額したが、四中学校での給食の未実施、就学援助制度の周知不足、子供の医療費無料化のおくれなど、安心して子育てする環境の整備に対する配慮がされるべきであった。

また、県交通安全指導員負担金は全額県負担とするよう要求すべきであったこと等から、認定に反対する。

なお、改選年度の九月定例会における決算審議は今後一考の余地がある。

《賛成》民主党・刷新の会

世界経済の危機に伴う厳しい財政状況の中、さまざまな手法により運営に努められた点は評価するものである。

特に、ふるさと・緊急雇用対策事業を積極的に進められたことは評価するが、臨時的な事業として終結しないよう検証を求める。

また、緊急的な経済対策として中小企業者に対する諸施策を実施されたが、市民から「疲弊している市内経済を何とかしてほしい」、「こんなときこのような事業や施設があれば」との声が多くある市内の状況を見据え、市民の声を大切にした政策の推進を求めつつ、一定の評価をいたし、認定に賛成する。

なお、一般会計から特別会計、企業会計に多額の繰り出しをしているが、特に、市民の関心が高い病院建設に対し、市民の理解を得るよう要望する。

《賛成》正風・興志会

平成二二年度は、伊東創

造に向けた「いとう8Kの発展・充実」のため、サマールレビューの結果を反映させた中で、市民の安心・安全の確保、観光資源の掘り起こし、緊急経済対策、雇用創出など、積極的な施策を展開されたことを高く評価する。

しかし、景気の停滞が続く中、歳入の根幹をなす市税収入が減少する一方、扶助費や公債費は増加しており、自主財源比率が減少し、財政構造の弾力性も低くなっている。

税負担の公平性を堅持し、歳入の確保を図ることは、行政の重要な課題であるため、市税等の収入未済額の回収に向け、積極的な取り組みを要望する。

今後においても、活力ある地域社会づくりへの施策と市民福祉の向上、命を守る防災施策の充実に全力で取り組んでいただくことを要望し、認定に賛成する。

《賛成》輝21

市税の減収にもかかわらず、黒字を確保された財政

運営に対し、主に次の四点から評価する。

第一に、来遊客が減少する中、インバウンド事業等を展開するとともに観光施設の整備を図られたこと。

第二に、疲弊した市内経済に対し、緊急経済雇用対策事業を初めとした、さまざまな経済対策を講じられたこと。

第三に、市民の安全・安心を堅守するため、高規格救急車への自動式心臓マッサージ器の搭載など、消防・救急に手厚い施策を推進されたこと。

第四に、市財政が厳しい状況下にあつて、将来を見据え、着実かつ積極的に基金の積み立てを行ったこと。今後、健全財政の定着を

図り、伊東創造の実現を目指し、市長がさらなるリーダーシップを発揮されることを願い、認定に賛成する。



平成22年度一般会計歳入歳出決算 起立採決

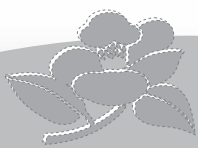
■中部電力浜岡原発の永久停止・廃炉を求め、自然エネルギーへの転換を求める意見書採択を求める陳情

《採択に賛成》日本共産党

福島原発の過酷事故を受け、浜岡原発は、津波対策を講じるため現在一時停止しているが、浜岡原発の危険性は、東海地震の震源域の真上に位置しており、その上、東南海、南海地震が連続して発生する可能性も指摘されていることにある。

また、原発停止後、中部電力管内の停電はなく、他のエネルギーで賄われたことや、太陽光、中小水力、地熱、風力だけでも全原発の発電能力の四〇倍あると言われており、原発依存から十分抜け出せると考える。

これらのことから、国に対し、浜岡原発の廃炉を求めるとともに、原発依存を改め、期限を定め自然エネルギーへ転換することを求める意見書提出は妥当な要求であり、不採択とすべしとの委員会の決定に反対し、本陳情の採択に賛成する。



市議会 9 月定例会で審議した議案等

24件の議案等を審議、決定

議案番号	件 名	概 要	提出者	審議結果
市報第4号	平成22年度決算に基づく健全化判断比率及び資金不足比率の報告について	地方公共団体の財政の健全化に関する法律第3条第1項及び第22条第1項の規定に基づき、①実質赤字比率、②連結実質赤字比率、③実質公債費比率、④将来負担比率の「健全化判断比率」の報告及び病院事業会計、水道事業会計、下水道事業特別会計について「資金不足比率」の報告	市長	(報告、質疑のみ)
市議第6号	伊東市税賦課徴収条例等の一部を改正する条例	現下の厳しい経済状況及び雇用情勢に対応して税制の整備を図るための地方税法等の一部を改正する法律が平成23年6月30日に公布、施行されたことに伴い、個人市民税において寄附金税額控除の適用下限額の引き下げ、申告書の不提出等に係る罰則の見直しを行うとともに、法律の引用条項ずれの整理を行うための改正	市長	賛成多数で可決
市議第7号	伊東市都市計画税賦課徴収条例の一部を改正する条例	上欄記載と同様の理由により、法律の引用条項ずれの整理を行うための改正	市長	全会一致で可決
市議第8号	伊東市立保育所条例の一部を改正する条例	平成24年4月1日から伊東市立湯川保育園が民間の認可保育所に移行することに伴い、市立保育所から同園を削るとともに伊東市立富士見保育園の号番号を繰り上げるための改正	市長	賛成多数で可決

市 議 会 だ よ り

議案番号	件 名	概 要	提出者	審議結果
市議第9号	伊東市都市景観条例の一部を改正する条例	平成16年6月に景観法が制定され、平成18年10月に本市が同法に規定する景観行政団体となったことから、同法による景観行政の推進を図るために必要な手続等を定めるための改正	市長	全会一致で可決
市議第10号	土地の取得について	東京都中央区が所有する宇佐美臨海テニス場跡地（6,276.72㎡）を土地取得特別会計で取得するに当たり、伊東市議会の議決に付すべき契約及び財産の取得又は処分に関する条例第3条の規定に基づく議決	市長	全会一致で可決
市議第11号	平成23年度伊東市一般会計補正予算（第3号）	地方議会議員年金制度の廃止に伴う議員共済給付負担金、被災地から避難されてきた方が避難所として旅館・ホテル等に宿泊するための委託料、宮城県石巻市雄勝町の伊達の黒船太鼓・福島県広野町の子供たちの招待経費や民話を活用した旅行商品を開発するための観光宣伝委託事業、緊急雇用創出事業で実施する市道の欠陥調査に基づき実施する修繕工事請負費の増額、湯川白石埋立地消波ブロック設置工事請負費の計上のほか、県補助金を活用した要援護者支援システムの構築、児童虐待防止事業、子育て支援員の養成事業の計上、自治宝くじ助成金を充当した3町内会が取り組む祭典用の山車の修繕などへの助成に伴う増額、さらに環境美化センター更新改良整備事業に係る起債償還に備えた減債基金への積み立て及び先行き不透明な歳入状況に対応するため財政調整基金への積み立てなど5億1,324万5,000円の追加	市長	全会一致で可決
市議第12号	平成23年度伊東市国民健康保険事業特別会計補正予算（第1号）	一般被保険者療養給付費の増額、前年度の国県支出金の精算に伴う返還金等の計上など1億1,426万5,000円の追加	市長	賛成多数で可決
市議第13号	平成23年度伊東市介護保険事業特別会計補正予算（第1号）	全額国庫補助を受け入れて実施するモデル事業に係る委託料や保険給付支払準備基金積立金のほか、前年度の国県支出金及び支払基金交付金の額が確定したことに伴う返還金等の計上など4,881万3,000円の追加	市長	賛成多数で可決
市議第14号	平成23年度伊東市水道事業会計補正予算（第1号）	収益的支出では、南一碧台分譲地の市水化に伴う料金徴収業務等委託料の増額などによる26万9,000円の追加、資本的支出では、十足地内管理用地土地購入予定地が市道認定されたことに伴う予算の組み替え	市長	全会一致で可決
市認第4号 ～ 市認第15号 発議第3号	平成22年度伊東市一般会計歳入歳出決算、9特別会計歳入歳出決算及び2企業会計決算 伊東市議会委員会条例の一部を改正する条例	※各決算の概要は、7ページの各会計決算の表をごらんください。 第5条第2項及び第3項の規定に関し、文言の整理	市長 議員6名	7ページの各会計決算の表をごらんください。 全会一致で可決
陳情第4号	中部電力浜岡原発の永久停止・廃炉を求め、自然エネルギーへの転換を求める意見書採択を求める陳情	陳情者：原水爆禁止伊東市協議会 会長 斉藤昭夫ほか9名	不採択とすべしとした委員会報告に対し賛成多数で不採択	

代 表 質 問

平成22年度 各会計決算及び
市長の政治姿勢について
(3会派から) 3 議員が登壇

(登壇順に掲載)

これまでにも何回か提案させていたれているが、伊東市全体の将来を考え、観光の活性化策として、全天候型多目的施設の整備が天候型多目的施設の整備が

経済の改善策が伊東市最大、最重要の課題であることは、市民共通の認識であると考えます。
昨今の観光事情からして、自然・名所旧跡めぐりなどのアウトドアだけでは不足されない時代が来ており、プラス何かあるということが重要とされる。さらに、天候に左右されることも嫌われる傾向にある。



民主党・刷新の会
伊東良平議員

観光の活性化策として、全天候型多目的施設の整備が必要と考えるがいかがか

必要と考えるがいかかがか。
早急な施設の整備は、大変難しいものと判断している

市長

誘客のための全天候型多目的施設については、ほかに優先すべき事業があることや、費用対効果及び現在の財政状況、建設後の維持管理費などを考慮すると、早急な施設整備は、大変難しいものと判断している。

『その他の質問項目』

■財政健全化に対する取り組み

■新市民病院に関し、三点

■環境美化センター更新改良整備事業実施後の施設の耐用年数

■緊急雇用創出事業による被雇用者への今後の対策



全天候型多目的施設の例
 (ツインメッセ静岡北館1F大展示場)

医療スタッフの確保や病院経営の見通しについて伺う



清峰クラブ
 佐々木 清議員

平成二五年春の開院を目指す新病院については、立派な施設が用意されるであろうが、そこに勤務する医療スタッフのレベルを一定以上に保つための確保状況について伺う。

また、平成二一年三月に策定した市立伊東市民病院経営改善計画に示されている市立伊東市民病院経営指標の数値と比較すると、平成二二年度決算は、経常利益で一千万円以上の減少、特別損失で三千万円弱の増加となっている。

これらの点を踏まえ、今後の病院経営の見通しについて伺う。

奨学金制度等の支援策等による、長期にわたる安定的な経営が図られよう

市長

医療スタッフの確保については、奨学金制度等の支援策を図っていく。

また、病床利用率、一日平均外来患者数ともに伸びていくとの見込みを前提に収支を試算すると、経常収支は、新病院の開院後二年目から黒字を確保し、長期にわたり安定的な経営が図られると考えている。

『その他の質問項目』

■今後の財政運営全般

■水道事業の経営見直し

■観光振興策及び誘客対策

■まちづくり推進事業の現状と今後の展望

■介護保険事業運営

■オレンジビーチマラソンの車いす部門の拡充



新市民病院 (イメージ)

教育の機会均等の観点から中学校給食の早期実施を求めるがいかかがか



日本共産党
 佐藤 美音 議員

市内全中学校に完全給食の早期実現を求める陳情が、平成二二年に採択されて以後、その七年後に門野中で給食が開始されたが後が続かず、平成二〇年度からは門野中を除く四校で業者弁当の注文販売の実施となった。

平成二二年度実績で、一日当たりの平均弁当注文数は、一番多い北中で四・七三%である一方、門野中の平均給食注文者は九六・九五%であり、注文弁当と給食との差は歴然である。

教育の機会均等という観点から早期解決が求められると考えるがいかかがか。

実施に向け、時代の流れに即した提供方法を見据えていきたい

市長

門野中の給食は、試行的な実施であり、他の四校は、本市の学校給食実施のための最善の方策が未確立であることなどから実施に至っておらず、応急的に弁当注文販売方式を導入している。実施に向けた可能性を多方面から検討しており、時代の流れに即した提供方法を見据えていきたい。

『その他の質問項目』

■福島原発の事故を踏まえ

・自然エネルギーへ転換を

■平成二二年度決算から

・財政調整基金の振りかえ

・医療費助成の年齢拡充

・緊急経済対策の成果ほか

■支払準備基金などを活用した国保税の軽減策ほか



門野中学校給食棟と給食

常任委員会だより

～常任委員会審査の中から～

- ◆詳細は、市議会会議録の委員会審査報告をごらんください。
- ◆市議会会議録は、市役所、図書館、各コミュニティセンターにあるほか、ホームページでもごらんになれます。

総務委員会

問

減債基金への積み立ての理由について伺う。

答

環境美化センター更新改良整備事業の起債の償還に備え、必要な財源を確保するとともに、市債の償還財源であることを明確にし、市財政の健全な運営に資するため行う。

問

太陽光発電は、自然エネルギーによる発電に大きな役割を担うものであり、その普及促進を図るための新たな支援制度に対する見解を伺う。

答

制度の制定に当たっては、国、県や県内市町の状況、先進事例も参考にしながら検討したい。

問

消火栓の点検について伺う。

答

現在、消火栓の全部を点検しているが、地域によっては水が濁る場合があるため、上下水道部と協議をしながら行っていきたい。



消火栓（地上式）

観光建設委員会

問

鳥獣による被害に対する防止策について伺う。

答

鳥獣被害防止計画に基づき防護、駆除等により対応しているものの、市単独では困難であり、国・県を含めた対策が必要であると考えている。

問

湯川白石埋立地消波ブロック設置工事の内容について伺う。

答

異常波高に備えるため、湯川終末処理場からホテルサンハトヤまでの間に、既存10t級のブロックに加え、16t級のブロックを約400個設置する。



湯川終末処理場前の消波ブロック

問

下水道接続率の向上策について伺う。

答

水洗便所改造等に要する改修工事費に対し、補助金及び貸付金の増額について、今後検討していきたい。

福祉文教委員会

問

新病院開院に向けた医師、看護師確保の見通しについて伺う。

答

市としては、病院に対し奨学金等の支援を行うほか、病院側でも常勤医師や看護師確保に努め、開院時には充足する予定である。

問

今後の介護保険事業に対する本市の考えを伺う。

答

施設整備が進むことにより、保険料がさらに上昇することから、介護する家族の負担を軽減しつつ、できる限り在宅での生活が継続できるよう検討していく。

問

多くの自治体が中学生まで医療費を無料化している中、本市の考えを伺う。

答

本市は、県制度を一部拡充して実施しているが、財政状況等を踏まえ無料化に向け、検討していく。



乳幼児医療費受給者証

特別委員会報告

議会閉会中の委員会活動状況を報告します。



医療問題特別委員会

七月二一日、委員会を開催し、新病院建設に係る進捗状況に関し、報告を受けた。

現在、基礎工事を進めており、本体部分に係るくい打ちに引き続き、基礎配筋、コンクリート工事を進めている。今後、免震装置を設置し、年度末までには三階部分までの躯体を立ち上げる予定である。敷地南側の整備については、病院側から、宿舍等の建設を断念する意向が示されたことから、アクセス用の歩道整備を行うこととした。

以上の報告に対し委員から、建設現場の地盤構造等が確認されたほか、南伊東駅周辺のバリアフリー化などの整備を含めたアクセス方法、シャトルバスの運行等に関し質疑が交わされた。委員会終了後、建設現場

の視察を行い、進捗状況を確認するとともに、免震装置等の詳細な説明を受けた。



新病院建設現場

閉会中の議会活動

平成23年

※平成23年6月定例会閉会后、平成23年10月11日臨時会開会まで

7月 7日 議会報編集委員会
7月20日 常任観光建設委員会協議会
7月21日 医療問題特別委員会
8月 9日 静岡市市町議会議員研修会
8月23日 議会運営委員会
9月 8日 常任観光建設委員会協議会
(9月30日 第17期任期開始)
10月3・4日 新議員行政研究会
10月 5日 市議会全員打ち合わせ会

市議会では、市民の皆様に市議会の情報をお届けするため、ホームページを開設しています。主な内容は次のとおりとなっていますので、ぜひご覧ください。

◎議長のあいさつ
◎市議会の仕組み
◎市議会の構成
◎議員名簿
◎歴代議長・副議長一覧
◎委員会委員一覧
◎市政の概要（全編版・抜粋版）
◎定例会・臨時会のお知らせ

◎議会閉会中の活動状況
◎議長・副議長日程表
◎行政視察
◎いとう市議会だより
◎市議会の傍聴を！
◎請願・陳情、決議・意見書とは？
◎市議会図書室のご利用案内
◎市議会の情報公開請求

◎伊東市議会会議録

伊東市議会
ホームページの
ご案内

伊東市議会

検索

編集後記

二二名の議員による第一期議会がスタートしました。

あわせて、議会報編集委員会も新委員により議会報の編集に当たることとなりました。

議会報編集委員一同、開かれた議会を目指し、市民の皆様により身近で、わかりやすい紙面づくりに努めてまいりますので、よろしくお願い申し上げます。

(委員長)

12月定例会の予定

(いずれも午前10時から始まります。)

12月	1・2・5日	本会議（一般質問）
	6・7日	議案審議
	8日	常任観光建設委員会 常任福祉文教委員会
	9日	常任総務委員会
	14日	本会議（最終日）

※11月下旬の議会運営委員会において正式に決定します。

議会報編集委員会

委員長 三枝 誠次
副委員長 榎本 元彦
委員 長 榎本 元彦
委員 四宮 和彦
委員 杉本 一彦

市議会に関するご意見

ご質問は議会事務局へ
伊東市大原二丁目一番一
TEL (三三) 一九八一
FAX (三八) 六九一六